

玉置浩二×オーケストラ、“雪解け”の願い込めた全国公演 大喝采とともに終演

熱気が覚めやらぬ中、今年6月から新ツアー決定！



2021年“ОТТЕПЕЛЬ”（オーチェペリ）最終公演

3月23日(火) 札幌文化芸術劇場 hitaru 指揮：円光寺雅彦、管弦楽：札幌交響楽団

photo by Ryo Kato

ポップスとオーケストラの共演によって多様性のある音楽を創造するコンサートシリーズ「ビルボードクラシックス」を全国で展開中のビルボードジャパン（株式会社阪神コンテンツリンク〔阪急阪神ホールディングスグループ〕本社:大阪市福島区、代表取締役:北口正人）は、2021年6月から玉置浩二の新たなツアーを開催する。

今年1月22日、東京文化会館大ホールを皮切りにスタートした“現代最高峰のヴォーカリスト”玉置浩二とオーケストラの競演による「billboard classics 玉置浩二 PREMIUM SYMPHONIC CONCERT 2021『THE EURASIAN RENAISSANCE “ОТТЕПЕЛЬ”（読み）ザ・ユーラシアン・ルネッサンス“オーチェペリ”』公演。昨日3月23日、全国4都市6公演の千秋楽が札幌で行われ、「オーチェペリ（ロシア語で“雪解け”の意）」と名付けられたツアーのフィナーレを迎えた。

玉置のホームグラウンド・北海道で開催された、札幌文化芸術劇場 hitaru 公演のチケットは発売と同時に全席ソールドアウト、まさにプレミアムチケットを手に入れた2200人が見守るなか、全15曲の熱演への惜しめない拍手に包まれその幕を閉じた。

コロナ禍以降初のコンサートツアーにもかかわらず、玉置とオーケストラによる全6公演は全て満席となる盛況ぶりです。その実力と人気を見せつけ、先の見えないこの世界に圧倒的な迫力と存在感で、タイトル通り“雪解け”を予感させるような、力強い希望の光を灯した。

そして、鳴りやまぬアンコールに応じて、今年初夏から再び7都市でのオーケストラ公演開催が決定。2015年にスタートした玉置とオーケストラによる画期的な本シリーズ「PREMIUM SYMPHONIC CONCERT」の集大成として感動を超えた奇跡のステージになるに違いない。

また公演公式HP（<http://billboard-cc.com/classics/tamaki2021-ottepel/>）では熊本公演（3月8日、熊本城ホール）の詳細なライブレポートが公開された。震災以来、募金活動をはじめ被災した人々へ寄り添い続けた玉置浩二が再びこの会場を訪れ、感動の渦を巻き起こした模様が語られている。

新ツアー速報は以下のとおり。公演名称やチケット販売スケジュール等、詳細は後日発表予定。

■玉置浩二 新オーケストラ公演情報

【東京】2021年6月6日（日）Bunkamura オーチャードホール

【熊本】2021年6月14日（月）熊本城ホール メインホール

【名古屋】2021年6月18日（金）愛知芸術劇場 大ホール

【堺】2021年6月23日（水）フェニーチェ堺 大ホール

【西宮】2021年6月24日（木）兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

【札幌】2021年7月1日（木）札幌文化芸術劇場 hitaru

【福岡】2021年7月9日（金）福岡サンパレス ホテル&ホール

【東京】2021年7月20日（火）東京ガーデンシアター

【本リリースに関するお問い合わせ先】

メールアドレス：[bbc@hcl-c.com](mailto:bbc@hcl-c.com)

ビルボードクラシックス公式ウェブサイト：<http://billboard-cc.com/classics/>